

競技に関する注意事項

1 コロナウイルス感染拡大防止対策

- (1) 今大会は無観客とし、競技場へ入場できるのは、各団体の陸上競技部代表、競技役員、選手、マネージャーのみとする。競技場またはウォーミングアップ場へ入場する場合は体調管理表の提出が必要となる。競技場に着了いたら最初に必ずマスクを着用し、選手、マネージャー、団体代表は2Fメインスタンド出入口、競技役員は1F出入口で提出すること。
- (2) ①本大会1週間前から今大会用の「大会前・提出用 体調管理表」を記入する。
②競技場に着了いたら最初に必ず選手はメインスタンド出入口でマネージャーは学校受付場所で必ず体調管理表の提示と検温を行う。このチェックを受けなければ、本競技場、ウォームアップ場への入場や招集を行うことができない。
③2種目出場する競技がある選手は参加種目数分の体調管理表を準備すること。
④体調管理表は招集所で回収をする。提出がなければ競技会への出場は認めない。
⑤各団体の代表も、団体受付で体調管理表を提出が必要となる。その時、入場IDを配布する（審判の先生は審判員証でよい。）ので競技場の入退場に使用する。各団体の代表、マネージャーはメインスタンド出入口から入退場する。（各団体最大2枚IDを発行する。）
⑥大会当日に出場できない選手がいる場合は、団体受付時に棄権届を、提出すること。
⑦大会後の2週間についても「大会後・自己管理用 体調管理表」を記録すること。
- (3) ①出場する種目の競技開始2時間前から競技場への入場を認める。それよりも早く競技場へ来場しないこと。
②上記の範囲で競技場での朝のアップを行う場合は8時30分から10時15分まで使用可とする。
③招集の際、自分の荷物を全て持ってくる。競技終了後はスタンドへ立ち寄ることができない。競技の最中は競技ごとで指定された場所に全ての荷物を置き、競技終了後はすみやかに競技場からでること。
- (4) 正面スタンドについては特に席を指定しないが、密を避けて座ること。
- (5) 各自で出したごみは必ず持ち帰ること。清掃当番校の割り当てはありません。
- (6) 声を出しての応援は個人、集団問わず禁止する。
- (7) ウォーミングアップや自身の競技の最中以外はマスクを着用し、三密を避ける行動をする。
- (8) 更衣室について、使用する場合は1階正面入り口から入り、ナンバーカードを提示する。ただし、シャワーの使用は不可とし、すみやかに出ること。
- (9) 記録の掲示は行わない。WEB速報を見て（当日QRコードを配布）確認すること。
- (10) 競技終了後は必ず手洗いや洗顔などを行い、消毒を実施し、新型コロナウイルス感染予防に努めること。

2 競技会全般に関して

1. 本大会は2021年度日本陸上競技連盟競技規則によって行う。
本大会のスタート動作における競技規則は、国内適用を用いる。
2. 各団体代表者(学校については引率教員)は、競技の招集開始時刻までに受付を済ませておく(受付がない場合、競技者は競技に出場できない)。この時、代表の先生に入場IDを渡す。(審判の先生は審判員証でよい。)
今大会は、出場する日は必ず受付をすること。入場IDも日にちごとに異なる。
3. 招集所、招集時間について
 - (1) 招集所は、選手エントランス2で行う。
 - (2) 招集時間は、タイムテーブルに記載されている時間とする。
4. ウォーミングアップについて
ウォーミングアップの実施は競技開始2時間前から実施することとする。
 - (1) 本競技場
本競技場でのウォーミングアップはすべて禁止とする。ただし、競技準備完了後8:00より競技開始15分前まではハードルを利用したアップをしてもよい。
 - (2) ウォーミングアップ場(サッカー場)
 - ①終了時刻は両日とも、最終種目招集開始時刻までとする。
 - ②跳躍練習、投擲練習、スパイクを利用した練習は実施できない。
 - ③他人の怪我につながる可能性のある行為はしないこと。

- ④出場種目の2時間前から最終コールまで使用可とする。
- ⑤本競技場で入場受付を済ませた選手のみ入場可能
- 5. 施設設備の使用について
今大会では競技終了後の清掃当番がないので、必ず持ち帰ること。近隣のゴミ箱等に捨てることはしない。
- 6. 写真及びビデオ撮影について
肖像権の法に触れる行為に関して、個人で記録したものを無断でネット上にアップロードしたりしないこと。

3 競技に関して

1. アスリートビブス（ナンバーカード）について
 - (1) ユニフォームの胸、背に確実につける。ただし跳躍競技は、胸または背につけるだけでもよい。
 - (2) トラック競技は、招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード」を貸与する。ランニングパンツの右横やや後方に、明確に数字が読めるようにつける。
 - (3) 男女3000m、男女5000mW、男女3000mSCについては「腰ナンバーカード」を左右両方につける。
 - (4) 腰ナンバーカードは、フィニッシュ後直ちに係員に返却する。
2. 競技について
 - (1) トラック競技の走路順・フィールド競技順は、プログラム記載順とする。
 - (2) 競技者の変更はいっさい認めない。
 - (3) 使用器具は、原則として競技場備えつけのものを使用する。ただし、棒高跳のポールとやり投のやりについては、検定を受けて使用することができる。
 - (4) 全天候走路なので、トラック・フィールド共スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。いずれの場合も本数は11本以内とする。（競技規則第143条2・3・4・5・6参照）
 - (5) **WA規則第143条（TR5:シューズ）のルール再改訂における本大会での適用について**

本大会は、標記の規則を適用して実施する。招集所にて、靴の確認を行なう。不適用シューズを履いて競技に参加した選手がいた場合、全員の記録が無効になる。詳しくは別紙の表を参考にすること。

他については、WAのHPテクニカルインフォメーションに使用可能な靴のリストがある。

種目	靴底最大の厚さ	要件・備考
フィールド種目 (除:三段跳)	20mm	全投てき種目と高さを競う跳躍種目および三段跳を除く長さを競う跳躍種目に適用。全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (Hを含) (800m未満)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (障害物競走含む) (800m未満)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路競技と同じとする。ンテ
クロスカントリー	25mm	
道路競技(競走・競歩)	40mm	

- (6) 400m までのトラック競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全確保のために、自分に割り当てられたレーン(曲走路)で減速し止まる。
- (7) 800m を9名以上で実施する場合、外側のレーンから順に2名ずつ入れる。その場合、欠場者があれば、内側から若い腰ナンバー順につめるため、招集が完了し、出場者が確定してからスタートレーンを確定する。
- (8) フィールド競技については以下の通り行う。
- ①走幅跳については競技運営、選手の健康管理を考慮し計測ラインを設けることがある。人数が多い場合は試技を2回にする場合がある。
 - ②三段跳については男子12m、女子9mの板とする。
- (9)競技運営以下のタイムで打ち切る

	男	女
3000m	13分	14分
3000mSC	14分	15分
5000mW		40分

【選手の動線について】

1. 競技場内は一方通行とする。(左周りとし、競技者はバックスタンド上のアスファルトまたはスタンドを通ること。)
2. 出入口はスタンドに設け、それ以外の場所からは競技場への出入りはできない。その際、健康管理チェックシートを見せること。また、グラウンドレベルのゲートも封鎖する。
3. スタンドに入れるのは、選手と学校受付で配付されたIDを持った代表者とマネージャーのみ。IDは各チームに最大2枚発行する。競技場内には選手のみ入場可能とする。
4. 競技場内を通過する際には、開催競技に支障が無いように十分配慮すること。
5. 招集完了はタイムテーブル記載のとおり。場所は100mスタート後方に設置する。その際競技役員に健康管理チェックシートを渡すこと。健康管理チェックシートを提出できない場合は出場を認めない。
6. トラック種目はゴール付近に設置した腰ゼッケン回収所で腰ゼッケンを返却し、荷物置き場に戻る。その際遠回りでも、グラウンドを一周すること。
7. 競技終了後速やかにスタンドから退出すること。
8. 記録の速報は行わないので、記録速報ページで記録を確認すること。アナウンスによる発表は行う。
9. 荷物置き場について

荷物置き場は競技に臨む最低限の荷物を置く場所とする。置く場所は、組ごとに指定するので、役員の指示に従うこと。それぞれの荷物置き場を使用できるのは、以下の通りとする。

荷物置き場A：400m・800m・400mH

荷物置き場B：1500m

荷物置き場C：200m・3000m・5000mW

荷物置き場D：100m・100mH・110mH・3000mSC